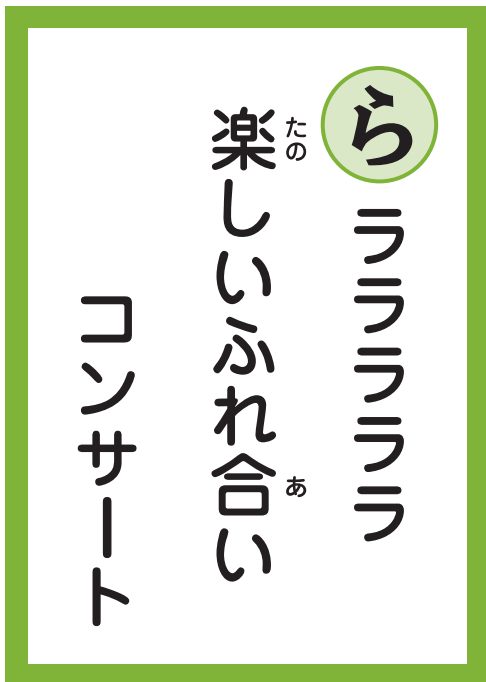


ら

絵札




読み札



心にひびく生演奏
ふれあいコンサート

ふれあいコンサートは、毎年一月に児童とその家族を招待して、さまざまな音楽を聴く会となっております。ピアノをかこんで演奏をする人のテクニクを間近で見たり、ハープにふれてみたりしたこともあります。たった三人で多くの楽器をひきこなし、世界中の音楽を聴かせてもらったこともあります。初めてきく本格的な音楽なので曲が終わるごとに手が痛くなるほど拍手をします。心にひびく演奏で心が温まります。



トキヒガまる

(児童作文)



り

絵札



読み札



緑化日本一、防災日本一
日本一の常磐東小学校

平成二十二年、全日本学校関係緑化コンクール学校環境緑化の部において特選の文部科学大臣賞(日本一)を受賞しました。「自然を愛し心を育てる学校環境緑化」をテーマに緑とともに生きる子供の育成に努めています。

平成三十年、教育活性化部門において博報賞(日本一)を受賞しました。地域・学校・関係諸機関が連携した防災活動をテーマに、子供たちの良さを引き出し、地域の二員としての自覚と自主性や達成感を育んでいます。

トキヒカまる

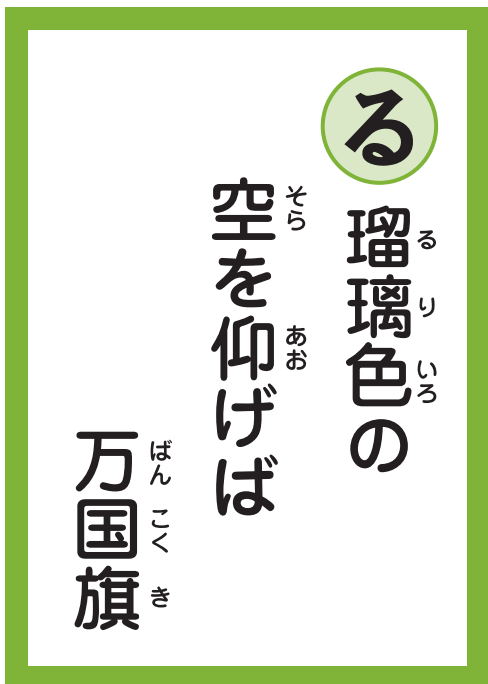


る

絵札



読み札



**子供から大人まで
みんなが楽しむ大運動会**

常磐東小学区合同大運動会は、入学前の小さな子供から七十、八十代のおじちゃんおばあちゃんまで多くの人が参加します。

小学校の二・三年生はダンスを楽しくおどり、三から六年生は組み立て体操を力強く演じます。また、四つのたてわり班を赤と白の二チームに分けて総合得点を競い合います。地域は、六町を四チームに分けて、いろいろな種類の競技をして大いに盛り上がります。

(児童作文)

 トキヒカまる


れ

絵札



読み札

れ れきし 歴史ある
どぶろく祭り まつ
 蔵次や くわじや

蔵次町熊野神社のどぶろく祭り

毎年十月十五日に行われる蔵次町の熊野神社秋祭りは別名「どぶろく祭り」としてとても有名です。どぶろくとは、伝統的な方法で米を発酵させ酒にした後、もろみを漉（こ）さずに飲む白く濁った酒です。氏子の手造り醸造したどぶろくを参拝者に振る舞う伝統行事です。同様の祭りは規模は異なるが、岐阜県の白川郷や富山県の五箇山でも行われており、いずれも平家ゆかりの地であることが共通しています。

トキヒカまる

(「岡崎まちものがたり」より)

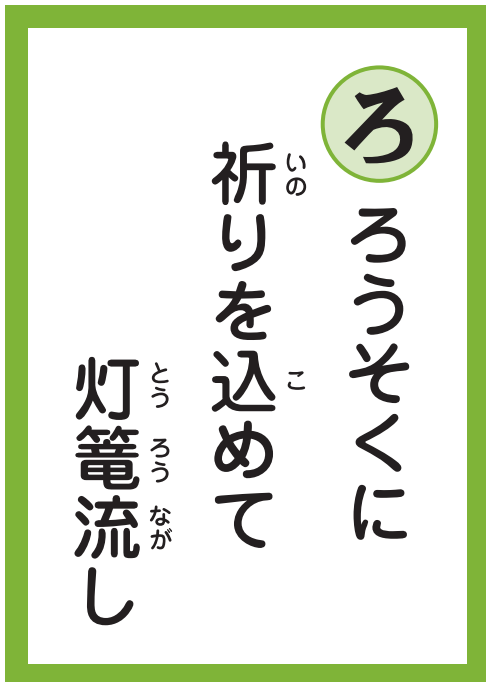


ろ

絵札



読み札



願いをかなえたい
青木川の灯籠流し

トキヒガまる

灯籠流しは平成二十一年から、大花火は二十三年から常磐東学区の行事として地域のみんなで行っています。

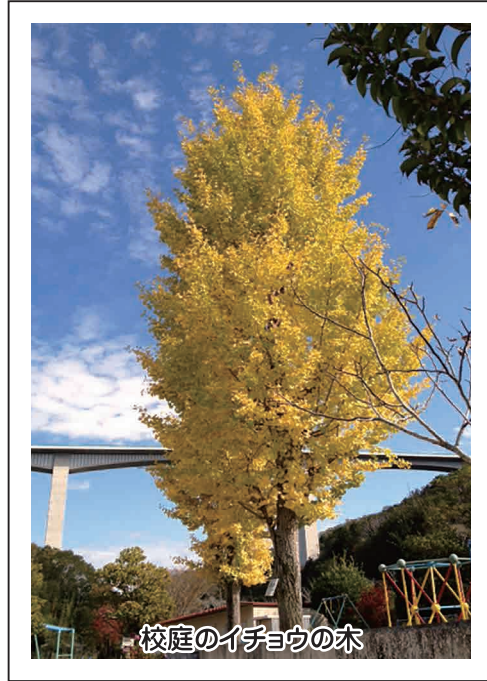
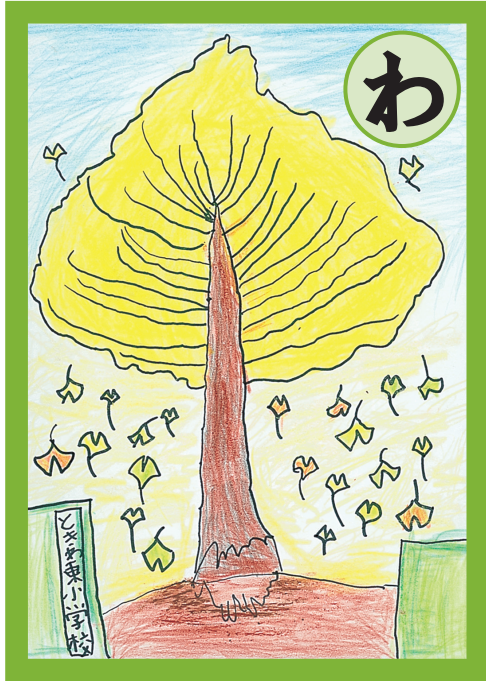
虫の声、川の水音だけが聞こえる夜の青木川。静かな川を優しい灯籠の光がゆっくり流れ、美しい世界が見られます。次々とぎれることなく願いや決意などが書かれた文字がほんのり浮かび上がります。せせらぎの広場には多くの人でにぎわい、家族の絆を深めています。

〔岡崎まちものがたり〕より

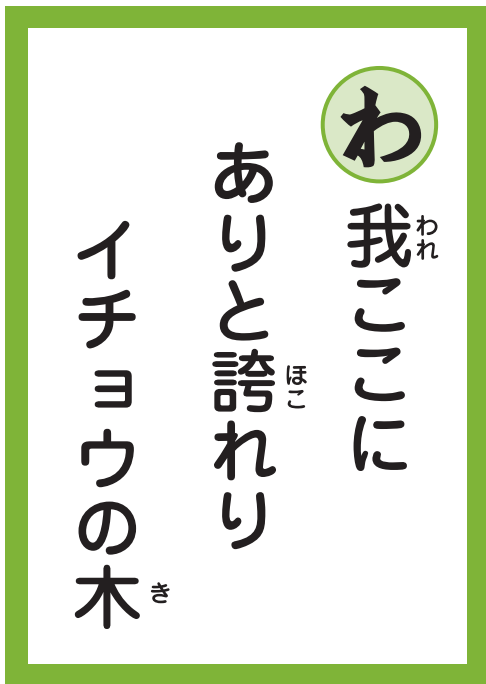


わ

絵札




読み札



**運動場にまつすぐ
そびえ立つイチヨウの木**

♪みどりを競う峰そめて 朝日がのぼる山の空。
校歌にも歌われるように自然の緑いっぱい常磐東小学校。
運動場では、輪車や鉄棒で遊ぶ子供たちの歓声が響きます。そ
んな子供たちを大きな眼差しで、包むかのようにそびえ立つイ
チヨウの木。このイチヨウの木は、昭和六十二年度、常磐東小学
校が、安戸町から移転新築した際に、植樹されました。秋に葉が
黄色に色づき、彩りを添えています。



トキヒガまる

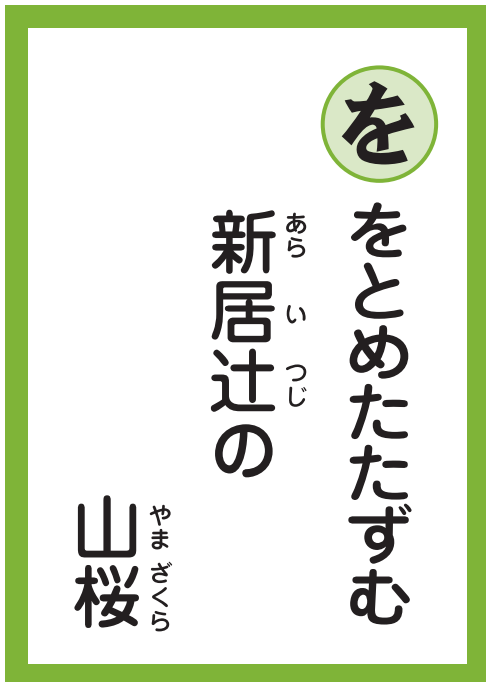


を


絵札



読み札



**新居町のシンボル
みんなで守る新居辻の山桜**



トキヒガまる

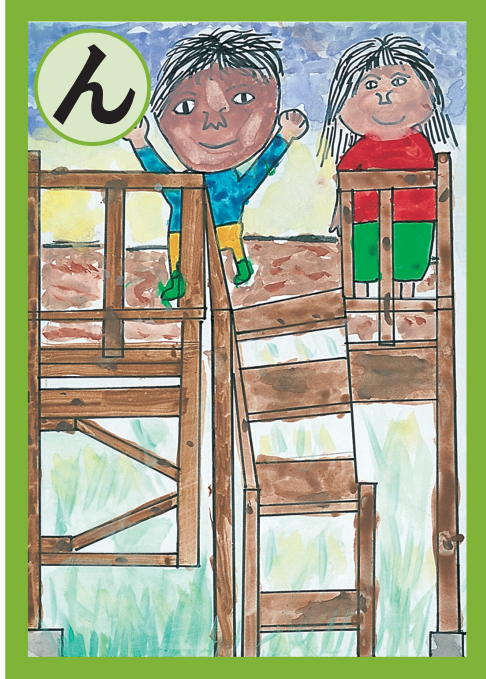
新居辻に大きく枝を広げた山桜が立っています。山桜は人が植樹したのではなく、自然に生えてきた桜だそうです。樹齢約百五十年以上も立っている木で、新居町のシンボルとなっています。昔は、きれいに花が咲いていたけれど、現在は、昔ほど花が咲かなくなりました。そこで、新居町の人々が山桜の周りの木を切つて、山桜に陽がしっかりと当たるようにして守っているそうです。

(児童作文)



ん

絵札



読み札

ん
 もり 気持ちいい
 森の展望台に
 のぼ
 登ってみると

**東っ子のために冒険世界を
常東ランドと展望台**

常東ランドと展望台は、平成十三年に地域の人たちが中心となって作りました。子供たちの新たな学び場を増やしたいとの願いから作られたそうです。高い所から学区の様子を見たり、山の生き物や植物を観察したりできます。十七年がすぎ、展望台は古くなり、子供たちが安全に登ることができなくなりました。そこで、平成三十年に大改築され、「森の展望台」と名づけられました。この場所は、今でも東っ子の「冒険世界」として、みんなが大好きな場所です。

トキヒガまる

(児童作文)

